

❀ けやきの道で見られる秋の花 ❀ …少し遠くまで足をのびして…

けやきの道は、コナラやクヌギの雑木林とケヤキの木が点在する尾根道と、やや乾いた明るい梅林、葛葉川沿いの湿った木陰が混在する場所です。



❀キハギ❀
8月～9月

日当たりの良い山野に生える落葉低木。クリーム色の花弁に赤紫色の模様が美しいです。

❀アキノキリンソウ❀
9月～10月

林縁や草地に生える多年草。林の中で明るい黄色の花弁が目を引きまます。

❀ハグロソウ❀
9月～10月

葉が黒みを帯びることからこの名があります。神奈川ではやや稀です。

❀コウヤボウキ❀
10月～11月

中心はほんのり薄紅色、先がカーブしたリボン状の花弁が愛らしい晩秋の花。

くずはの広場の野菊の仲間

くずはの広場には5種類の野菊の仲間が生育しています。夏の終わりから晩秋まで咲き続け、秋の風情を感じさせます。簡単な見分け方と見られる場所をご紹介します。



花色：○

花びらが白～うすむらさき色で実には長い冠毛(綿毛)がある。

ノコンギク
9～10月

(くずのき広場)

※冠毛が1mm以下なら
…カントウヨメナ
(花壇に植栽)

花色：○

花時に、根元にハート型の大きな葉がある。



シロヤマギク
9～10月

(けやきの道)

花色：○

花時に根元に葉はなく、茎に付く葉は細長い。



シロヨメナ
9～10月

(ほたるの道・
どんぐり山)

花色：○

葉は3～5つに切れ込み、裏側に白毛が生え、独特の香りがある。



リュウノウギク
10～11月

(けやきの道・花壇)

❀質問などがありましたら、くずはの家スタッフにお気軽におたずねください❀

編集・発行：秦野市くずはの家 〒257-0031 秦野市首屋1137 TEL:0463-84-7874

発行日：2021年10月10日

❀このリーフレットは公益財団法人かながわトラストみどり財団の助成金を活用して作成されました。

くずはの広場・かんさつガイド④



カンゾウ

秋の草花



ヒガンバナ

残暑の候、時折涼しい風が吹くころになると、くずはの広場では秋の草花が咲き始めます。ススキの原っぱや雑木林で、秋の花散歩をお楽しみ下さい。

❀ ほたるの道・はんのき林で見られる秋の花 ❀

ほたるの道やはんのき林は湿地と呼ばれる環境です。ササの茂った放棄田に手を入れて、湧水を利用し、湿地として整備しました。斜面の雑木林の林縁や散策路沿いに、湿った環境を好む花々が咲きます。



❀シロソウ❀
8月～9月

林内の湿った場所に生える多年草。暗紫褐色の花に黄色い雄しべが映えます。



❀ヤブミョウガ❀
7月～9月

時に草丈が1mを超える大型の多年草。白色の一日花がしぼむと真珠の様な若い実ができ、やがて青藍色に熟します。



❀ミソソバ❀
(広義)
8月～9月

湿地に群生して生える多年草。愛らしいコンペイトウのような花をつけまます。



❀ヤマトリカブト❀
10月～11月

花に見えるのは、がくが花弁状に変化したもので、その中に蜜を分泌する本来の花弁があります。全草に毒成分(アルカロイド)を含む有毒植物。林縁にやや稀に見られます。

家の周り・花壇の植物

❀くずはの家の周りの花壇には、自生していないものも含めて、四季折々の魅力的な花を集めています。ぜひご覧になってください。



カリガネソウ

キツリフネ

フジバカマ

シモバシラ

❁ くすのき広場で見られる秋の花 ❁

くすのき広場は、まばらに植えられた樹木とススキが生える草地です。日当たりの良い乾いた環境や半日陰を好む植物が多く見られます。



❁オミナエシ❁ (植栽)
8月～9月

日当たりの良い山の草地に生える多年草。秋の七草の一つ。近年草地の減少により少なくなった植物です。



❁オトコエシ❁
8月～9月

オミナエシに似ていますが、花は白色。オミナエシの「女」に対して強剛であることから「男」に見立てた名です。



❁ナンバンギセル❁
8月～9月

ススキやミョウガの根に寄生します。別名「思ひ草」として万葉集の歌にも登場します。ススキの根元を探してみてください。



❁ヌスビトハギ❁
7月～9月

薄紅色の可憐な小花を多数付けます。ユニークな形の実には動物や衣服について運ばれます。



❁ミズヒキ❁
7月～9月

赤と白の花弁を水引に例えてこの名が付けられました。



❁キンミズヒキ❁
8月～10月

ミズヒキに対して花色が黄色なので金水引。果実にはかざり状のトゲがあり、衣服に付いて遠くまで運ばれます。



❁センニンソウ❁
8月～9月

つる性の多年草。白毛の密生する実の様子を仙人のひげに例えてこの名があります。花の後には実が目立ってください。

足もとの小さな花々

❁小さいながらも夏の終わりから秋まで絶え間なく咲き続け、小型のチョウやハナアブなど多くの虫たちの命を支えています。



キツネノマゴ



イヌトウバナ



ウリクサ

❁ どんぐり山で見られる秋の花 ❁

どんぐり山は、雑木林の木陰と、葛葉川をかたどって作られた小道の間のやや湿った環境です。秋、散策路沿いには多くの秋草が咲き、どんぐりもたくさん落ちます。



❁マツカゼソウ❁
7月～9月

どんぐり山斜面に群生します。細かい葉と白い小花が涼やかで風情があります。葉に独特の匂いがあるためか、シカの食害を受けません。



❁ヤマハギ❁
6月～10月

落葉小低木。秋の七草の一つで万葉集に最も多く登場する花です。初夏から秋にかけて長く花を咲かせます。



❁ツリフネソウ❁
9月～10月

花の様子をつり下げられた帆かけ船に例えてこの名があります。熟した実に触れるとボンと弾けてタネが飛び出します。



❁キツネノカミソリ❁
7月～8月



❁タイアザミ❁
9月～10月



❁ホトトギス❁
9月～10月



❁ヤブラン❁
7月～10月



❁フシグロセンノウ❁
8月～9月



❁キバナアキギリ❁
9月～11月

くずは緑地の秋を代表する花。条件の良い年は、どんぐり山斜面やほたるの道斜面を淡いクリーム色に彩ります。



❁ハナタデ❁
9月～10月

山野の湿った林下に生える一年草。葉質は薄く、細い莖にならぶ小さな花が優しい印象です。



❁ミズタマソウ❁
8月～9月



❁サラシナショウマ❁
9月～10月